

# 瀧口修造

## Shuzo Takiguchi

1903-1973 日本

美術評論家、詩人。日本のシュルレアリスムの理論的支柱として、国内外のアーティストと親交を深めた。「ヴェネチア・ビエンナーレ」(1958)の日本代表および審査員を務めた。デカルコマニーの制作など、活動は多岐にわたる。

1903 - 1973 Japan

Art critic, poet. He developed deep relationship with domestic and international artists for theoretical support of Surrealism in Japan. He was the representative of Japan and jury for the Venice Biennial (1958). He was active in various fields including the production of Decalcomania.

### 瀧口修造

デカルコマニー No.27

1971年

デカルコマニー、水彩絵具



### Shuzo Takiguchi

Decarcomania No.27

1971

Decarcomaania, gouache

デカルコマニーで制作された模様には制作者の意識のコントロールが効いていない。つまり、完成した模様には制作者の「無意識」が表出することが可能になり、そのことがデカルコマニー最大の特徴と言える。また見る者によっても模様見え方は様々であり、それが見る側の「無意識」をも示す可能性がある。デカルコマニーとは、フランス語で「転写法・転写方式・転写画」を意味する用語。絵の具を塗り、別なガラスや紙を重ねて押し付け、はがすことで偶然に生まれる形態に注目したもの。シュルレアリスムにおいてオスカー・ドミンゲス、マックス・エルンストらが行った。

瀧口修造

デカルコマニー

1969年

デカルコマニー、水彩絵具

**Shuzo Takiguchi**

Decarcomania

1969

Decarcomaania, gouache



瀧口修造

デカルコマニー No.20

1969年

デカルコマニー、水彩絵具

**Shuzo Takiguchi**

Decarcomania No.20

1969

Decarcomaania, gouache



瀧口修造

デカルコマニー No.29

1969年

デカルコマニー、水彩絵具

**Shuzo Takiguchi**

Decarcomania No.29

1969

Decarcomaania, gouache

